

令和4年度  
第3回堺市堺区政策会議  
議事概要

行政資料番号 1—C8—22—0238

## 令和4年度 第3回堺市堺区政策会議 議事概要

開催日時：令和5年3月17日（金）午後3時30分から午後4時30分

開催場所：堺市役所本館3階 大会議室 第1会議室

出席者：紅谷座長、大佐古構成員、川崎構成員、橋本構成員、水谷構成員、宮里構成員  
安田構成員

欠席者：湯井職務代理者、柴藤構成員、田邊構成員

### 【議事要旨】

#### （1）令和4年度 第2回堺市堺区政策会議の意見まとめについて

資料1「令和4年度 第2回堺市堺区政策会議の意見まとめ」について確認を行った。

#### （2）令和3、4年度 堺区政策会議の総括について

令和3、4年度 堺区政策会議の総括として作成した資料2「令和3、令和4年度 堺市堺区政策会議のまとめ(案)」の内容について確認を行った。その後、今後の取組についての意見、会議に参加した感想等、意見交換を実施した。

### ○主な意見・感想

#### ■堺区防災推進事業についての意見

- ・子どもを対象とした取組を進めることで、若年期からの防災意識の醸成に加えて、自宅へ帰ってから保護者と災害時の対応を話し合うなど、家庭での事前の備えにつながるというメリットがあると思う。
- ・防災お役立ちカードは、コロナからのインバウンドの回復時期となるタイミングで発行できたことは、とても効果的で素晴らしいと思う。
- ・会議が始まった当初は、区役所での防災対策は、市に追従するだけの内容となるのではと、イメージしていたが、区役所が主体として市を巻き込んで、積極的に新規事業に取り組まれていると感じた。
- ・堺区には他区、市、府とも連携して、組織の縦割りをこえるような取組をすること、現場の声を大切にすることの2点を意識して、事業に取り組み、防災体制の構築につなげてほしい。
- ・現在、住民が暮らしにくいと感じておられる現場にこそ、災害時の困りごとが隠されている。子育て世代のご苦労、障害のある子どもとその家族のご苦労、認知症高齢者を抱えた家族の生活の大変さなど、これら課題をすいあげ、具体的な政策につなげていけば、どこよりも人に優しいまちづくりが行えると思う。あくまで要配慮者のための専用の対策ではなく、地域全体で「みんなで助かる」実践が大切である。

- ・安全な避難場所を確保した瞬間から始まる避難生活について、避難行動の訓練等の準備と合わせ、全ての避難所の環境整備、どのような困りごとを持っている人が来ても受け入れが可能な「みんなに優しい避難所」や福祉避難所の整備を進めていただきたい。
- ・令和4年9月の台風14号の時に開設された避難所へ実際に避難した際に、暑さを含め、体を休めることが難しい体育館の厳しい環境を体験し、空調などが整った別室を確保することが大事と感じた。
- ・府立学校や支援学校に防災アドバイザーとして何度かうかがい、訓練を実施してきた。しかし、災害時に地域で貢献が期待される中学生向けの取組が不足しているため、そこに向けての取組も検討してほしい。
- ・地域では、郵便局、イオンなどの企業と連携を図って防災対策に役立てている。郵便局長自ら防災士となっている等、地域で積極的に防災に取り組む企業も増えている。
- ・高校生まで堺区内で過ごしたため、単身高齢者や、外国籍の方の増加などの変化を感じている。防災を進めていくことが難しい状況であるが、それでも取り組んでいくことに価値があると思う。
- ・安全安心が鉄道事業者としてのベースとなることから、会議終了後も歩みを止めることなく続けていく。鉄道関係のニュースで、JR西日本の大雪による車内閉じ込めがあり、マニュアル通りの対応ではなく、その場面に応じた柔軟な対応をしていくことの必要性を感じた。

#### ■堺区政策会議に参加した感想

- ・会議を通じて避難所の運営だけでなく、広い視点で防災について学ぶことができた。学んだことを自身だけでなく後輩に伝えていきたい。
- ・地元の自主防災組織の防災副部長を引き受けた当初は、手探りで活動に取り組んでいたが、会議を通じ様々な知見に触れて視野が広がり、副部長としてやるべきことの整理につながった。
- ・堺区政策会議で知り合うことができた鉄道会社、ホテルの方とのつながりを今後も活用して、防災についての取り組みを実施していきたい。
- ・従前は、自身が働く市内の3事業所の中の防災対策にどう取り組むかという目線だったが、会議をきっかけに、地域と事業所との良い連携をめざしていきたいと思うようになった。